



EU およびその他法域における HP の有害物質に関する規制 (RoHS) および他の規制への適合について

(Rev 14d, 2022 年 4 月)

HP Inc
1501 Page Mill Road
Palo Alto, CA 94304-1112
www.hp.com

HP は、すべての適用法令及び規制に適合するよう取り組んでおり、その対象には欧州連合 (EU) 改正 RoHS 指令 2011/65/EU (通称 EU RoHS 2) (指令 2015/863/EU により改訂)、および中国の電器電子製品有害物質使用制限管理弁法 (中国版 RoHS)、2016 年のインドの電気電子機器廃棄物管理規則、などの他の法域の RoHS 規則が含まれます。

HP は、EU RoHS 2 指令のような規制は、有害物質を制限する方向へ業界全体のシフトを促すうえで重要な役割を果たすであろうと考えています。一般に、有害物質の制限では、以下の点を考慮に入れることが重要です。

- 規制の内容と実装要件のグローバル規模での調和
- 物質のリスク評価 - 代替物質の環境負荷に関する明確な理解も含む
- 制限対象にする物質の (広義の分類やカテゴリではない) 明確な識別
- 代替テクノロジーが実証され実用化される時期の明確化
- 業界全体が移行を完了するまでの適切なリードタイム
- 最終製品に含まれない物質は規制対象外とすべき
- 代替テクノロジーが現在実用的でない場合の規制物質の使用に関しては、適用除外を許可すべき
- 最大濃度値の設定 (その僅か下のレベルには関連する物質が存在する可能性がある) を含める

将来の RoHS 規制の改定では、他の物質も候補に挙げられるものと HP は考えています。これには、電気・電子機器 (EEE) に含まれるポリ塩化ビニル (PVC) および臭素化難燃剤 (BFR) の規制も含まれます。HP は、塩素 (Cl) と臭素 (Br) の使用を電気・電子機器において制限する (技術的に実現可能な場合) ためには、PVC と BFR に焦点を当てるべきであると考えています。PVC と BFR に着目した理由は以下のとおりです。

- PVC と BFR は、電子機器に含まれる塩素と臭素の用途の 99% を占めている。
- これらの物質は使用率が高いため、影響も最も大きい。
- これらの物質の使用を制限 (技術的に実現可能な場合) すれば、電子製品から塩素と臭素を除去する目標を実質的に達成できる。



業界全体で数多くの種類の製品すべてを対象にこれらの物質の移行を実施するには、HPはRoHS規制による制限が最善であると考えています。ただし、一部の用途で残っている技術的な問題、環境的に望ましい代替物質の可用性の問題、物質が制限される場合に、高い再生材使用率を維持できるかどうかなど、いくつかの重要な問題が克服されるか、特定の適用除外によって対応する必要があると思われます。

HPの継続的な自発的目標は、EU RoHS 2の範囲内にある事実上すべてのHPブランドの新製品に関して、EUで定められた各種の期限から6カ月以内に、EU RoHS 2の物質と適用除外の要件をEEA（およびEUコンプライアンス日付を追跡している他の国）域外に世界的な規模で適用することです。ただし、技術的に実現可能な代替物質が存在しないことが広く認知されている（EU RoHS指令の適用除外項目で示されている）場合を除きます。

HPは、1990年代初頭から有害物質の除去に積極的に取り組んでいます。[HP Materials and Chemical Management Policy](#)では、製品、パッケージング、および製造プロセスで使用する材料および化学物質の指定方法を指導しています。これまでの重要な施策については[Green Chemistry Timeline](#)を参照してください。

全世界のRoHS規制に対するグローバルな対応を全側面で管理するため、2003年の初めに全社的なRoHSチームを組織しました。RoHS規制に対処するHPのイニシアチブは、当社のサステナビリティ設計プログラムの一環です。このプログラムには、環境と人の健康への影響を改善するため材料のイノベーションを推進することが含まれています。詳細については、下記のHPのサイトで材料のイノベーションの項を参照してください。[サステナブルインパクトレポート](#)

HPは、管轄区域が異なるRoHSに似た規制も引き続き視野に入れ、今後追加される要件も満たしていきます。HPは、現在有効なすべてのRoHS規制（以下の「適合状況」で挙げるものを含む）の要件に適合しています。HPの適合検証は、サプライチェーンに組み込まれる制限物質に対する当社のリスク分析に基づいており、EUのEN 50581:2012標準および国際標準 EN IEC 63000:2018で概説されている技術文書も対象にしています。

詳細については、次のページから以下の項を参照してください。

[HP サステナブルインパクト](#)

[サステナブルインパクトレポート](#)

[サステナブルデザイン](#)

[適合検証](#)

[環境関連一般仕様](#)

[環境宣言](#)



※日本語参考訳については、<https://jp.ext.hp.com/info/sustainable-impact/> を参照してください。

既存のRoHS規制に対するHPの適合状況

ヨーロッパ、中東およびアフリカ

欧州連合 (EU) および欧州経済圏 (EEA)

- HP製品[1]は、2015年3月31日のEU指令2015/863により修正された2011年6月8日のEU指令2011/65/EUに適合しており、附属書IIIの免除の修正を含みます。

スイス

- HP製品[1]は、特定の危険物質、調剤、および物品の使用に関連するリスクの低減に関するスイス条例 (通称、スイス化学リスク低減条例 (ORRChem) (2005年5月18日改正)) に適合しています

ウクライナ

- HP製品[1]は、2017年3月10日付ウクライナ閣僚令第139号で承認され、2017年9月22日に施行された「電気・電子機器における特定の有害物質の使用制限に関する技術規制」(ウクライナ版RoHS)の物質制限に適合しています。なお、上記規制の施行に伴い、2008年12月3日付のウクライナ閣僚令第1057号で承認された、「電気・電子機器における特定の有害物質の使用制限に関する技術規制」は廃止されました。

セルビア

- HP製品[1]は、セルビアで2011年1月4日に施行されたWEEEおよびRoHS (電気・電子製品、有害物質を含む電気・電子機器の回収を禁止および制限する措置、および電気・電子製品の廃棄物を管理するための方法と手順のリストに含まれる規制)に適合しています。RoHSの制限は2011年7月1日以降に市場に投入された機器に適用されます。

トルコ

- HP製品[1]は、2012年5月22日に施行されたトルコの「電気電子機器廃棄物 (WEEE) に関する規制」に適合しており、「電気電子機器の特定有害物質の制限に関する規則」(トルコ版RoHS)を取り入れています。

ボスニア・ヘルツェゴビナ

- HP製品[1]は、スルプスカ共和国官報50/15に掲載され、2016年6月1日に施行されたボスニア・ヘルツェゴビナの「電気・電子機器における特定危険物質の使用制限規制 (RoHS規則50/15)」(ボスニア・ヘルツェゴビナ版RoHS)に適合しています。

アラブ首長国連邦 (UAE)

- HP製品[1]は、2018年1月1日に施行されたUAEの「電気・電子デバイスにおける危険物質の制御のための閣議決定No. 10/2017 (RoHS) OG



No.614、2017年4月27日(2017年5月16日に公開周知) (UAE版RoHS) に適合しています。

ユーラシア経済連合 (EAEU)

- HP製品[1]は、2020年3月1日に施行されたEAEUの「電気および無線電子機器 (RoHS) での有害物質の使用制限に関する技術規則EAEU 037/2016、2016年10月18日」(EAEU版RoHS) に適合しています。

英国 (UK)

- HP製品[1]は、2013年1月2日に施行されたUKの「電気電子機器規制 2012 / No.3032における特定の有害物質の使用制限」(UK版RoHS) に適合しています。

アジア

中国

- HP製品[1]は、2016年7月1日に施行された「電器電子製品有害物質使用制限管理弁法」(中国版RoHS) に適合しています。また、2019年11月1日に施行される「有害物質の限定使用の基準を満たした電器電子製品のカタログ (バッチ1)」にも適合しています。

インド

- HP製品[1]は、インドで2016年10月1日に施行されたE-waste管理および取扱規則, 2016 (インド版RoHS) の素材制限に準拠しています。

韓国

- HP製品[1]は、2008年1月1日に施行された電気/電子製品および自動車の資源循環に関する法律 (韓国版RoHS) に適合しています。次のURLで韓国でのHPのRoHS宣言を確認することができます。
<http://www8.hp.com/us/en/hp-information/environment/msds-specs-more.html>.

ベトナム

- HP製品[1]は、2012年12月1日に施行されたCircular 30/2011/TT-BCT:電気電子機器中に含まれる有害化学物質の最大許容濃度の一時規制に関する通知(ベトナム版RoHS) に適合しています。次のURLで、ベトナムでのHPのRoHS宣言を確認することができます。
<http://www8.hp.com/us/en/hp-information/environment/msds-specs-more.html>

日本

- HP製品 [1]は、2006年7月1日に施行された「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法」(JIS-C-0950、通称J-MOSS) のラベル付け要件に適合しています。HPのJ-MOSS宣言は、次のURLで確認することができます。<http://www8.hp.com/us/en/hp-information/environment/msds-specs-more.html>



シンガポール

- HP製品[1]は、2017年6月1日にシンガポールで施行された環境保護管理法 (Chapter 94A) 別表2の改正政令 (2016年公布、通称シンガポールRoHS) に適合しています。

台湾 (BSMI)

- HP製品[1]は、台湾の「經濟部 (MOEA) 標準検閲局 (BSMI) が2015年12月29日付の通知を通じてリリースした電気電子機器の制限化学物質の削減に関するCNS 15663ガイダンス、および、BSMI認証のためのRoHSラベリング要件の追加」に適合しています。これは通称台湾BSMI版RoHSで2017年7月1日に施行されました。

アメリカ

カリフォルニア州

- HP製品[1]は、2007年1月1日にカリフォルニア州で施行された2003年電子機器廃棄物リサイクル法 (上院法案20) の有害物質制限 (カリフォルニア版RoHS) に適合しています。

ニュージャージー州

- HP製品[1]は、2011年1月1日に施行された電子機器廃棄物リサイクル法 (上院法案2144、通称ニュージャージー版RoHS) に適合しています。

全世界

- HPは、EU RoHSの物質規制のEU指令 (2011/65/EU 改訂版) の範囲内にある事実上すべてのHPブランド製品を対象として世界的な規模で適合するという内部の自発的目標を達成し続けています。ただし、技術的に実現可能な代替物質が存在しないことが広く認知されている (EU RoHS指令の適用除外項目で示されている) 場合を除きます。

注記:

[1] 規制の範囲内であり、対象の管轄区域の市場に投入されたHP製品。

© Copyright 2022 HP Development Company, L.P. All Rights Reserved. 本書の内容の一部または全部を著作者の許諾なしに複製、改変、および翻訳することは、著作権法下での許可事項を除き、禁止されています。本文書は日本語参考訳であり、日本語と英語に差異がある場合は英語版を正とする。